

杉野服飾大学

平成 21 年度 大学機関別認証評価
評価報告書

平成 22 年 3 月

財団法人 日本高等教育評価機構

I 認証評価結果

【判定】

評価の結果、杉野服飾大学は、日本高等教育評価機構が定める大学評価基準を満たしているとして認定する。

【認定期間】

平成 21(2009)年 4 月 1 日から平成 28(2016)年 3 月 31 日までとする。

【条件】

特になし。

II 総評

大学は、大正 15(1926)年、杉野芳子によって創立されたドレスメーカースクール（現ドレスメーカー学院）を母体として、昭和 39(1964)年杉野女子大学を開学、平成 14(2002)年校名を杉野服飾大学に変更して男女共学となった服飾関係の単科大学である。

創立者杉野芳子の生涯を通して、洋装文化・技術の普及と女性の自立支援に尽くした、先取の志とたくましい行動は、杉野学園の教育のバックボーンとなり、建学の精神となって、以来 80 有余年にわたって継承されてきた。

時代の変遷に伴って、建学の精神・大学の基本理念と使命・目的は検討を重ね、平成 19(2007)年 3 月に「挑戦、創造、自立（自己実現）」としてまとめ、学内外に公表した。

教育研究組織は、教養教育と専門教育の領域を取払い全学的に教養教育の推進を図る「基礎課程連絡委員会」を置き、教務委員会との連携を図りながら、1、2 年次の教養教育の運営を行っている。3、4 年次の専門課程は、7 つの専門性に分化したコース制を設けて専門教育を実施している。

教育課程全体は一般教養と芸術性・基礎技術を培う基礎課程と、創造力を持った専門職業人を養成する専門課程に分け、豊かな教育課程の広がりや専門教育の深さを究める教育を行っている。

アドミッションポリシーは明確にされ、多様な志願者に対応する各種の入試制度の実施によって、入学定員は確保されている。

学生の意見をくみ上げる取組みや、クラス担任・副担任、コース担任など、教職員一体で話し合いをする機会の設営や、「学生サポート連絡委員会」やオフィスアワーや担任制によるクラスアワーなどの学生支援システムは適切に機能している。

しかし、近年退学者数が増加している状況を注視してその対策を講じる必要がある。

教員の教育研究活動を活性化するために、学生による授業評価を速やかに授業に反映する授業改善方策に取り組んでいる。

平成 20(2008)年度から、若手職員を対象とした「学校法規研究会」を組織して、学校教育関係法規、学校関係会計法規、杉野学園の諸規程などに関する勉強会を理事長が主催して開催している。

職員が、自発的な発意により「事務職員勉強会」を組織して、経済的困窮家庭の学生に

対する緊急支援方策や中途退学者の問題などの対策を検討して、理事会に提案を行い「杉野学園緊急貸与奨学金規程」が制定された。

平成 16(2004)年度以降、理事長の強力なリーダーシップのもとで、学園の管理運営の改善が行われ、理事会のガバナンスを確立するとともに、財政情報の開示など透明性を確保して、教職員全体が危機感を共有しつつ一致協力して改革に取り組むとともに、理事長が学長を兼務することにより、管理部門と教学部門が一体となり迅速かつ円滑な意思決定と運営が行われることで大きな成果が得られた。

平成 16(2004)年度以降、7 年間にわたる人件費の凍結や徹底した経営の合理化によって財政基盤の整備に努め財政的危機状態から脱皮して、学園と大学の運営に必要な経費を確保して収支の均衡が改善されたことは高く評価できる。

杉野服飾大学附属図書館、杉野学園衣裳博物館、杉野記念館などの所蔵図書並びに所蔵物は専門性に特化して充実しており、一般にも公開されている。キャンパス内各所に展示スペースを設けるなど専門的教育目的に応じて適切な運営がなされている。

生涯学習に即応した多くの講座やオープンカレッジなどが開講され、地域や社会に提供されている。

中国の服飾関係教育機関や国内のアパレル・ファッション関連企業との連携を深め、大学の将来的発展の構築に努めている。

組織倫理は、諸規程の整備とともに確立され、「学校法規研究会」の活動などを通して、教職員の規範意識の浸透と育成に取り組んでいる。

総じて、服飾関係単科大学の専門性に特化した教育・研究体制は整備され、管理運営も適切に行われていることは評価できる。

Ⅲ 基準ごとの評価

基準 1. 建学の精神・大学の基本理念と使命・目的

【判定】

基準 1 を満たしている。

【判定理由】

学校法人杉野学園の創設者杉野芳子は、大正 2(1913)年 21 歳の時、単身でアメリカ合衆国に渡り、自分自身の生活体験を通して西洋衣装の制作技術と服装文化を学び、大正 9(1920)年帰国後、日本における洋装の普及と服飾技術の教育によって、女性の自立を支援することを目標にして、ドレスメーカースクール（現ドレスメーカー学院）を設立した。

以来 80 有余年にわたって、建学の精神・大学の基本理念と使命・目的は、後継者によって継承され、我が国の服飾教育界における主導的立場を確立するとともに、多くの人材が社会に輩出してきた功績は顕著である。

建学の精神・大学の基本理念について、理事長・学長は、「入学式のことば」やオリエンテーションで、学部長は初年次の「服飾学原論」の講義の中で、学生に直接伝えていることは評価できる。

杉野服飾大学

学外に対しては、杉野学園・杉野服飾大学ホームページに掲載された理事長・学長メッセージや大学案内などで懇切に説明していることは評価できる。

【優れた点】

- ・入学決定者に対する入学前教育の一環として、創設者杉野芳子の自叙伝である「杉野芳子・炎のごとく」を配付してレポートの提出を求め、入学の事前に建学の精神の周知を図っていることは高く評価できる。

基準 2. 教育研究組織

【判定】

基準 2 を満たしている。

【判定理由】

大学の使命・目的を達成するため服飾分野に特化した学部運営は、その組織の構成と相互の関連性が保たれ、適切であると評価できる。特に、3、4 年次の専門課程における 7 つのコースを設置した先見性は、建学の精神・大学の教育目的である「挑戦、創造、自立（自己実現）」を具現化するものとして優れている。

次いで、教養教育についても、「基礎課程連絡委員会」を置いて教務委員会との連携を図りながら、組織的な運営が推進されている。特に、語学教育において、大学の服飾関係の専門性を意識した開講科目の設定などから、学長提案を受けた上記委員会活動の成果が見られる。

教授会運営や「大学自己点検評価委員会」などの運営を通して、小規模大学の起動力を生かした迅速な意思決定と教職員によるその問題対処などから、大学の使命・目的と学習者の要求に対応できる組織運営がなされていると判断できる。

【優れた点】

- ・全学的に教養教育を考える観点から「基礎課程連絡委員会」を置き、「基礎課程アンケート」を実施し、教養教育の推進を図っていることは評価できる。

基準 3. 教育課程

【判定】

基準 3 を満たしている。

【判定理由】

単科大学の特色を生かして、大学の教育目的に即した教育課程の編成がなされている。特に、教育課程全体を、一般的教養と芸術性・技術力を養う基礎課程を 1、2 年次に配置し、創造力を持った専門職業人を養成する専門課程（7 つの各コース）を 3、4 年次に配置して、豊かな教育課程の広がりや専門教育の深さを保証している点は優れている。

専門性を意識した語学教育やコンクール形式の授業など、大学の特色である実学の精神を達成するような教育課程の設定には工夫が見られる。

基礎課程における中心科目である「ドレス構成論・実習」における授業評価表の作成と履修学生への配付、担当教員相互の授業見学の実施と意見交換会、専門課程における「学生による授業アンケート」、入学時の「新入生実態調査アンケート」、卒業時の「学生生活アンケート」の実施など、改善の努力をしている。

建学の精神を踏まえた実習や実技面の教育方法の創意工夫、産学連携教育の推進などの努力を通して、学習者の実践力や技術力・意欲の向上に効果を上げている。

【優れた点】

- ・1、2年次に配置されている基礎教育課程に加えて、3、4年次に配置されている専門課程は、服飾造形とその関連分野で働くために必要な知識・技術・感性を身に付け、服飾産業界が求める能力を備えた人材の育成を目指していることは評価できる。
- ・時代に即応した入学前の取組みや導入教育としての「ミシン講義」や、マルチメディア環境の整備されたデジタル教材実習室を使った「ドレス構成論・実習」など、初年次教育への取組みは評価できる。
- ・教員相互による授業見学を行うことにより、授業の進め方や、助手の活用、教材や備品のチェックなどの問題点の確認や評価を行い、授業の改善などに成果を収めていることは高く評価できる。

基準4. 学生

【判定】

基準4を満たしている。

【判定理由】

アドミッションポリシーは明確にされ、入学試験種別ごとに適切な出願資格と試験方法を定めている。多様な受験生に対する各種の入試が行われ、入学定員は確保されている。

学生への学習支援に対する学生の意見をくみ上げる取組みが適切に機能し、学生の授業評価に基づく授業改善やシラバスの改善にも積極的に取り組んでいる。学生サービス、厚生補導のための組織として、「学生サポート連絡委員会」が組織されている。オフィスアワーや基礎課程での担任・副担任によるクラスアワーなどの綿密な学生支援のシステムが構築されている。学士課程修了後の課程である専攻科の学生がTA(Teaching Assistant)「学生サポート」として学部学生を支援する制度も整えられている。

就職支援として、ガイダンス、対策テスト、企業説明会を実施し、キャリア教育支援も整備されている。企業の求人数の増加策、企業の求める人物像の把握、大学教育との差異をフォローする対策などの検討を行っている。

【優れた点】

- ・コース選択に対して展示作品の見学や説明会を開催するほか、4週間の授業見学期間

を設けている点は評価できる。

基準 5. 教員

【判定】

基準 5 を満たしている。

【判定理由】

専任教員の数は設置基準を満たし、社会における実務経験者の採用や専門教育の要求に客観的な幅を持たせることができる教員の構成と配置、年齢的にバランスのとれた教員構成などの配慮がなされている。

学術研究や作品制作奨励のために、研究費や研究奨励補助金制度などが整備され、教育研究活動が保証されている。

杉野学園衣裳博物館所蔵のドレスの復元研究をはじめ、造形表現の技法やデザイン開発などに積極的かつ組織的に取り組んでいる。

学生による授業評価により、速やかな授業改善を促している。「FD 研究委員会」を中心に、FD(Faculty Development)活動の実績が認められ、更なる全学的 FD 活動の発展に向けての組織などの構築を目指している。

【優れた点】

- ・ 杉野学園衣裳博物館所蔵のドレスの復元研究をはじめ、造形表現の技法の研究などの積極的で組織的な取り組みは評価できる。

【改善を要する点】

- ・ 教員の採用・昇任に関して、「杉野服飾大学・杉野服飾短期大学専任教員資格認定規則」により、大学と短大が同一基準で行われていることは改善を要する。

基準 6. 職員

【判定】

基準 6 を満たしている。

【判定理由】

必要な事務組織は規程に基づき整備され、法人が持つ大学・短期大学部・ドレスメーカー学院の 3 校の事務を、教務部門以外で共通とし、少人数による合理的な事務運営を実現している。

職員の資質・能力の向上のための取り組みとして、外部研修会への参加とその報告会、勉強会が行われており、知識の整理能力や発表能力の向上、知識・情報の共有などに資するものになっている。理事長が、若手職員を対象とした勉強会を開催していることは評価できる。これらの取り組みは、事務局内の横断的な情報交換や意見交換の場として、組織を活

性化し、新たな学生支援策のきっかけになるなどの成果も出ている。

教授会や各種委員会には、関係部署の部課長が出席しており、教育研究を支援するための教員と職員の協力体制が整っている。

【優れた点】

- ・理事長が、平成 20(2008)年度から若手職員を対象とした「学校法規研究会」を組織して、学校教育関係法規、学校関係会計法規、杉野学園の諸規程などに関する勉強会を開催していることは評価できる。
- ・職員が自発的に「事務職員勉強会」を開催して、中途退学者の問題や経済的困窮家庭の学生に対する緊急支援方策などについて検討を行い、その成果として「杉野学園緊急貸与奨学金規程」が制定されたことは評価できる。
- ・教授会には関係部署の部課長が常時出席し、各種委員会にも教員だけでなく関係部課長が委員として参加しており、業務を通じて把握した学生の現状を各委員会に報告していることは評価できる。

基準 7. 管理運営

【判定】

基準 7 を満たしている。

【判定理由】

平成 16(2004)年度以降、学園の管理運営の改善に向けて、理事長の強力なリーダーシップのもとで、理事会のガバナンスを確立し、組織の見直しが進められ、必要な規程が整備されている。開示された情報に基づいて、教職員全員が共通の認識を持って一致協力して改善に取り組んでいる。

理事長が学長を兼務することにより、管理部門と教学部門は一体となって、小規模大学の利点を生かした迅速かつ円滑な意思決定を行っており、日常的な業務の処理から理事会や教授会の運営にいたるまで緊密な連携を実現している。

「大学自己点検評価委員会」が継続的に活動しており、学生による授業評価、学生対象のアンケート、専任教員相互の授業公開・授業参観などを実施し、自己点検・評価結果を大学運営の改善・向上につなげていく恒常的なシステムが機能している。

基準 8. 財務

【判定】

基準 8 を満たしている。

【判定理由】

予算編成においては、各部署からの予算要求を収入見積りに従って査定して行い、大学の運営と教育研究に必要な経費は確保され、全体収支の均衡状況も良好である。会計処理は

透明性が保たれ、監事と監査法人による監査も適切に行われている。

財務諸表の公開については、「学校法人杉野学園財務情報の公開に関する規程」を制定して、財務諸表、事業報告書、監事の監査報告書を閲覧に供している。そのほか、「杉野服飾大学報」への消費収支計算書の概要を掲載し、ホームページにおいて財務状況を全般的に説明する資料、経年推移、財務分析資料も併せて掲載し、公表している。

外部資金の導入においては、産学連携においてタオルや繊維の産地などと連携し、学生の作品制作に使用する生地の現物供与を受けている。私立大学戦略的研究基盤形成支援事業のオープンリサーチセンターとして、平成 19(2007)年度以降 3 か年事業で交付金を受けている。これらの外部資金の獲得は、大学の専門性を生かしたものとして評価できる。また、収益事業で一定の成果を上げている点は評価できる。

基準 9. 教育研究環境

【判定】

基準 9 を満たしている。

【判定理由】

校地・校舎面積は設置基準を満たし、講義・演習室、実験・実習室、コンピュータ実習室、「杉野学園衣裳博物館」「杉野記念館」などの施設は、専門性と歴史を生かした教育環境として整えられ、IT 環境も含め専門的な教育研究目的に応じて適切に管理・運営されている。

附属図書館は、書籍・収集資料を服飾関係中心に特化した図書館として独自性を打出し、一般利用者への開放もしている。

学生自習室や実験・実習室、コンピュータ室は、管理者の了承のもとに平日 20 時、土曜日 17 時まで利用できる。

耐震診断とバリアフリー化について、対応はされてきているが、まだ十分ではない。耐震診断の実施されていない建物は早急に行い、その結果において安全確保の対策の検討が必要であり、バリアフリー化についても計画的な対応が望まれる。

地域住民と緊密な関係を保ちつつ、校舎の塀を取払い、歩道上空地を設けるなど、街ぐるみでアメニティに配慮した対策が講じられている。

【参考意見】

- ・耐震診断未実施個所の診断を早急に行い、その結果において安全確保の対策の検討が望まれる。
- ・校舎のバリアフリー化が進められているものの、まだ十分ではない状況であるので、必要な個所について計画的な対応が望まれる。

基準 10. 社会連携

【判定】

基準 10 を満たしている。

【判定理由】

「全国ファッションデザインコンテスト」を開催し、長年にわたって多くの才能豊かな人材を服飾界に送出しており、日本初の衣装博物館である「杉野学園衣裳博物館」を、企画展などの開催を含め年間を通して公開している。

「デザイン・パターンデータベース」のシーチングサンプルをシステムティックに可動できる実習施設である「ロータリーハンガー・シーチングサンプル室」を、申込み制でアパレル企業の開発担当者などが利用できるようにしている。また、「服飾造形夏期セミナー」、公開講座、キャリアアップ講座、オープンカレッジなどを開催し、大学の持つ物的・人的資源を広く社会に提供している。

産学連携においては、生地の産地と連携し、学生にとって実践の場として有益な教育機会となっている。また、中国の服飾教育機関や企業との連携事業を開始している。

地元である東京都品川区を後援として公開講座、企画展を開催しているほか、品川区八潮児童センターとのコラボレーションにより、子どもたちとの交流、学生による「ドレメ通り」の清掃を行うなど、地域社会との協力関係を築いている。

【優れた点】

- ・平成 20(2008)年に第 46 回を迎えた「全国ファッションデザインコンテスト」を、文部科学省や東京都の後援を受けて開催していることは高く評価できる。
- ・「杉野学園衣裳博物館」は、国内外の服飾関係資料を収蔵・展示する日本初の衣装博物館として昭和 32(1957)年設立され、企画展などの開催を含め年間を通して公開していることは高く評価できる。
- ・中国浙江省の服飾教育機関や企業との連携事業を開始するなど、海外との連携を進めていることは高く評価できる。

基準 11. 社会的責務

【判定】

基準 11 を満たしている。

【判定理由】

平成 16(2004)年度以降、組織倫理は必要な諸規程の整備とともに確立され、「学校法規研究会」の活動などを通じ、教職員への規範意識の浸透、育成にも取り組んでおり、適切な運営がなされている。しかし、社会の変化に対応するための見直しや、教職員の意識への定着のための取組みには、引続き努力が必要である。

防災規程・マニュアルなどを整備、周知しているが、火災や自然災害以外の、より広範な危機への対応についても検討が望まれる。また、消火訓練、避難訓練は実施しているが、より全学的な取組みが望まれる。

紀要、教員作品集、スクールマガジンの発行など、教育研究成果を社会に発信する体制

杉野服飾大学

が整えられ、地域との連携事業を通じた広報活動も認められる。今後は、IT を用いた教育研究成果の公開への更なる取組みが期待される。

